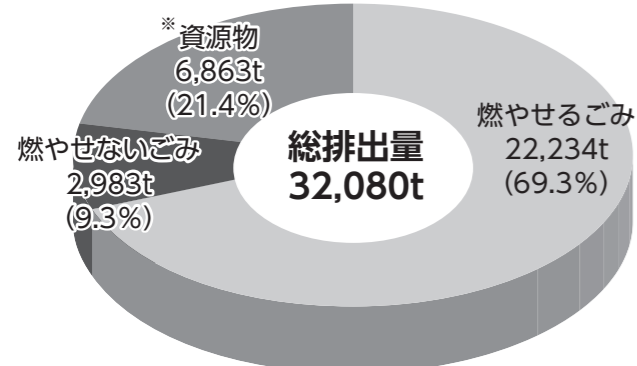


◆グラフ1 平成25年度のごみの種類ごとの排出量



※集団回収分と許可業者独自資源化量を含んでいます。

## データで見る ごみの状況

市内のごみの状況を、データを見ながら紹介します。

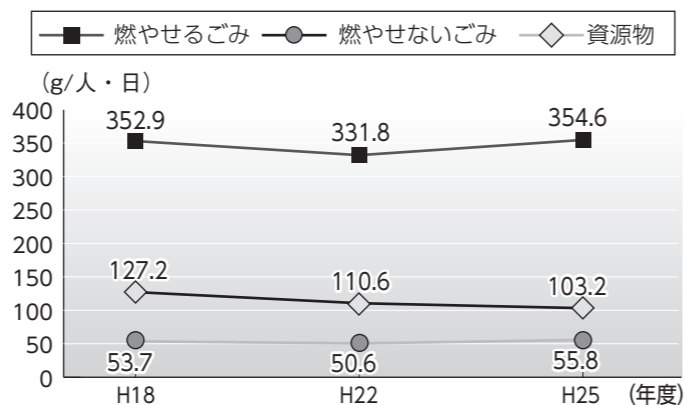
グラフ2は、家庭系ごみにおける市民1人・1日当たりの排出量（g/人・日）の推移です。燃やせるごみ、燃やせないごみともに増加傾向であることがわ

減らないごみ  
進まない資源化

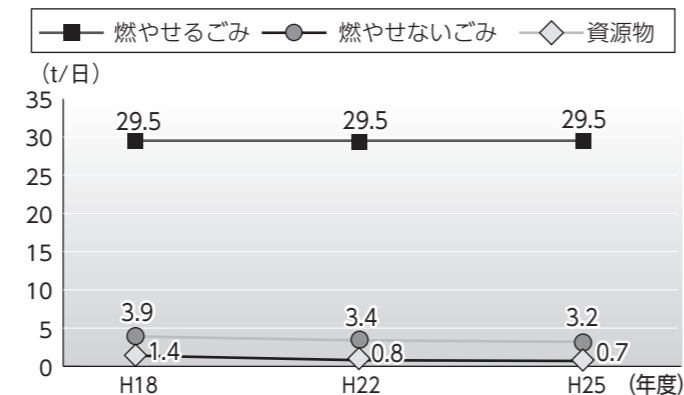
3万2,080t。これは、平成25年度に市内で発生したごみの量です（グラフ1参照）。学校にある25mプール（幅12m・深さ1m）に入る水の重さ（300t）に例えると、約107杯分。一般的なごみ収集車に積むことができるごみの量（約2.5t）に例えると、約1万3,000台分になります。総排出量のうち、53%が家庭から出されたごみである「家庭系ごみ」、47%が企業や商店、飲食店などの事業所から出される「事業系ごみ」となっています。

プール約107杯分の  
ごみが発生

◆グラフ2 家庭系ごみの排出量の推移（1人・1日当たり）



◆グラフ3 事業系ごみの排出量の推移（1日当たり）



データ出典：いずれも「天草市一般廃棄物処理基本計画」

かります。グラフ3は、事業系ごみの1日当たりの排出量（t/日）の推移。燃やせるごみは横ばい、燃やせないごみは若干減少しています。一方、資源物は、量が多ければ資源化が進んでいる、少なければ進んでいないことを表しています。家庭系・事業系ともに平成18年度と比べて減少しており、資源化への取り組みが進んでいないことがわかります。

メモ

- ごみ処理にかかった費用は…  
年間 **約14億円**
- 市民1人あたりに換算すると…  
約 **1万6,000円**

※平成25年度実績



# 「ごみ」を考える

私たちが日々生活を送る中で必ず発生する、「ごみ」。今号では、『「ごみ」を考える』と題して、市内のごみの状況をはじめごみの減量へ向けた取り組み、不法投棄の現状などを紹介します。「ごみ」に関する詳細は、本庁・環境施設課 ☎1111へお尋ねください。

燃やせるごみの収集のようす